

秋の実

川崎市八ヶ岳少年自然の家

コブシ(モクレン科)

観察のポイント

ゴツゴツしたおもしろい形の実です。じゅくすと糸にぶら下がった赤い実が出てきます。葉や茎、実もとてもよい香りがします。ぜひ落ちている実をひろってためて下さい。

ナナカマド(バラ科)

観察のポイント

秋早くから赤い実が目立ちます。紅葉も美しく秋を代表する木です。赤い実は冬おそくまで残り、雪の中でひときわ目を引きまします。

ヤマモミジ (カエデ科)

観察のポイント

プロペラの形をした実をよく見て下さい。この実は二つにわれクルクルと風に乗って遠くまで運ばれます。どんなふうか試してみてください。

ヤマボウシ(ミズキ科)

観察のポイント

じゅくすと甘くておいしい実です。鳥たちにも人気のある実で、食べられ、フンと一緒にまかれることで種が遠くに運ばれていきます。クリーミーな食感はトロピカルフルーツを思わせます。食べ過ぎると口の中がザラザラするので注意してくださいね！

アブラチャン (クスノキ科)

観察のポイント

実をわってみると強い香りがします。たくさん含まれている油成分の臭いです。昔、実や木の皮の油をあかり用に使いました。

エゴノキ (エゴノキ科)

観察のポイント

実の皮にはエゴサポニンという成分が含まれています。新鮮な実を洗濯石鹼かわりにしたり、軽い麻酔効果があるのですりつぶして川に流し、魚とりに使ったりしました。実をつぶし、出てきた汁を手のひらでよくこすり、少し水を加えると石鹼のようにあわが出ます。

ウメドキ (モチノキ科)

観察のポイント

赤い実は葉が落ちたあとに残るのでよく目立ち、小鳥がよく食べにきます。木は、小鳥に食べられることで種まきをしてもらっているのです。

リョウブ (リョウブ科)

観察のポイント

たくさんの種は冬の間も木にのこり、美しい木のもようとともに、この木を見分けるポイントになります。とてもかたい木で、炭にしたり、皮を付けたまま床の間(とこのま)の柱に利用されます。

秋の実

川崎市八ヶ岳少年自然の家



コブシ

コブシ(モクレン科)



ナナカマド

ナナカマド(バラ科)



ヤマモミジ

ヤマモミジ (カエデ科)



ヤマボウシ

ヤマボウシ(ミズキ科)



アブラチャン

アブラチャン (クスノキ科)



エゴノキ

エゴノキ (エゴノキ科)



ウメモドキ

ウメモドキ (モチノキ科)



リョウブ

リョウブ (リョウブ科)